

第4回大分市教育ビジョン検討委員会 会議要旨

日時：平成28年10月4日（火）15:00～17:00

場所：大分市教育センター 研修室202

○出席者12名、欠席者3名

1. 開会

2. 会長あいさつ

伊藤会長から開会に当たってあいさつ。

3. 議事

(1) 構想・計画・指標の検討について

資料を基に、基本計画のうち基本方針4「個性豊かな文化・芸術の創造と発信」と基本方針5「スポーツの振興」、基本方針6「人権を尊重する社会づくりの推進」に係る内容を事務局から説明する。

◆基本方針4 個性豊かな文化・芸術の創造と発信

●重点施策(1) 美術の振興と発信

<主な意見・質問等>

【委員】障がいをお持ちの方を対象として、美術館の招待日を設定しているといったような取組があるか。

【事務局】障がいをお持ちの方に限定した開館日というような取組は実施していないが、団体見学などは随時受け付けており、見学の時に引率の先生だけでは人手が足りない場合は、美術館職員の人数を増やしたりボランティアの方をお願いしたりするといった対応をとっている。

【会長】具体的施策⑤(P3)に「県立美術館などの関係機関と連携し」とあるが、関係機関と相談や協議をする仕組みがあるか。

【事務局】全体的な連絡会のような組織は無いので、県立美術館や各大学、美術関係団体などと個別に協議をして連携を図っている。

【委員】文化・芸術という言葉の中には美術だけでなく音楽や演劇など色々な分野があると思うので、説明を足して幅広い分野を対象にしていることを伝えた方が良いと思う。

【委員】具体的施策④(P2)に、美術に関する様々な情報をインターネットなどで発信するとあるが、そういうものを扱えない人もいますので地域で回覧するといった方法もとても効果的だと思う。

【事務局】インターネットなども使いながら、紙媒体等により、地域での回覧といった方法による広報も引き続き行う。

【委員】具体的施策①(P1)の指標で平成31年の指標と平成36年の指標がどちらも美術館の年間利用者数50万人(平均値)となっているのはどのような考えからか。

【事務局】 展覧会 1 つだけ見ても、利用者が 14 万人を超えた年もあれば 6 万人だった年もある。毎年右肩上がりに増加する指標を設定することは難しいので、平均して年間 50 万人を目標に取り組むという考え方である。

●重点施策（2）文化財の保護・保存・活用

<主な意見・質問等>

【委員】 大友氏遺跡が歴史公園として完成するのはいつ頃かということと、何か計画している事業があれば教えて欲しい。

【事務局】 第 1 期整備として大友氏館跡とその北側にある唐人町跡の整備を進めているが、その中でも南東部分にある庭園跡の整備を行っており、完成・公開は平成 32 年を予定している。完成までの間に国民文化祭やラグビーワールドカップがあるので、その開催中は整備工事や発掘調査を見学できるようにすることなどを検討している。

【委員】 城址公園はずっと駐車場として使われているが、何か将来的な計画があるか。

【事務局】 城址公園の整備については公園緑地課が所管しており、整備基本計画を作成中である。その計画の策定を待って教育委員会として対応を検討していきたい。

◆基本方針 5 スポーツの振興

●重点施策（1）生涯スポーツの推進

<主な意見・質問等>

【委員】 小学生の運動に関して言うと、体力テストは各小学校のレベルが上がってきたと思うが、運動好きな子どもをどう育てるかということには悩んでいるところだ。子どもに色々な体験をさせることが良いと思うが、何かいいアイデアや工夫があれば教えて欲しい。

【事務局】 学校が単独で取り組むのは非常に難しいものがあるので、家庭や地域と連携した取組を考えている。例えば、高校生や総合型地域スポーツクラブ、地域の体育協会、スポーツ少年団などの地域の人材を活用してさまざまな活動に取り組んでいきたい。

【委員】 スポーツ少年団は小学生以上を対象としているが、幼少期から運動をする楽しみを体験させることが大切であることから、将来的には幼少期からの加入も検討している。生涯スポーツということを考えると、競技スポーツよりも体を動かすことの大切さをもっとアピールして欲しい。

【委員】 総合型地域スポーツクラブなどが困っているのは体育館等の場所の確保が難しいことで、スポーツをしたい気持ちがあってもそういう問題があって活動が定着しにくいという意見がある。

【委員】 1 つの種目を見ても、同じ地域の中に子どもの団体もあれば大人の団体もあるし、地域を越えて参加できるような体制が確立している割には団体同士のかかわりなどはあまり無く競技ごとや団体ごとの縦割りになっている気がする。もっと一緒にやればそんなに多くの場所を必要としないだろうが、それぞれの団体が個別に場所を確保しているので、使用している人数は少ないのに他の団体が使えないという状況になっている。

●重点施策（２）競技スポーツの振興

意見・質問等なし。

●重点施策（３）スポーツを指導・支援する人材の育成

<主な意見・質問等>

【委員】スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなどで指導をしている人は、仕事をしているため指導する時間があまり無い人が多く、指導者を確保することが難しいために活動が継続できないという団体もある。スポーツを専攻する大学生やインターンシップ制度を利用して地域でボランティアをする社会人などの協力を得て、若い指導者や若いボランティアを育成していくといったことが必要だと思う。

【事務局】スポーツ少年団には中学生や高校生で構成するリーダー会があり、その中にはスポーツリーダーとして活動している子どもがいる。このリーダー会を活性化していくことが指導者の確保につながると思うので、スポーツ少年団の活動の中で取組を進めていきたい。

【委員】総合型地域スポーツクラブや地域のさまざまなイベントなどでスポーツリーダーとして資格を活かせることや指導者として必要とされていることなどが周知されれば、そういった指導者をもっと動きやすくなると思う。今、地域の中で足りないのは若い世代なので、若い人材の育成といった視点を持って進めて欲しい。

●重点施策（４）スポーツ施設の整備

<主な意見・質問等>

【委員】大分市のスポーツ施設は他の市町村と比べた時にどのくらい充実しているかという点と新しくスポーツ施設を作る予定があるかという点について教えて欲しい。

【事務局】スポーツ施設の充実度はグラウンドなどの野外施設については中核市の中でも上位、体育館などの屋内施設については下位である。また、現存する施設に関しては維持・管理しながら長寿命化を図っていく方針であり、スポーツ施設の保有量の最適化という視点から古い施設を廃止して新たな施設を造るという方法も考えられるが、今のところは新設の予定は無い。

【会長】体育館の確保は本当に難しい。学校施設の開放という観点から言うと、例えば今後、学校が閉校した時に体育館を残して地域に開放するといったことが可能だろうか。

【事務局】実際、閉校となった大志生木小学校と木佐上小学校については、体育館を残して地域に開放された屋内施設として活用している。

【委員】最近ではスポーツが多様化しているので、広いグラウンドや広い体育館が無くても空き教室があれば活動できるものもあると思う。閉校になった学校でなくても、そういった空きスペースを有効利用して欲しい。

●重点施策（５）スポーツを通じた地域活性化

意見・質問等なし。

◆基本方針6 人権を尊重する社会づくりの推進

●重点施策（1）学校教育における人権・同和教育の推進

<主な意見・質問等>

【委員】学校教育の中での人権教育ということを考えた時に、子どもたちが苦しんでいるいじめや不登校、児童虐待、インターネット上のトラブルなどの問題を扱うことが大切だと思う。

【事務局】基本方針6では人権尊重の根底になる部分の教育をやっていくという方針であり、学校教育の中で人権・同和教育を推進していくことは大変重要なことであると考えている。

●重点施策（2）社会教育における人権・同和教育の推進

意見・質問等なし。

●重点施策（3）人権啓発の推進

<主な意見・質問等>

【会長】「おおいた人権フェスティバル」は、「フェスティバル」という言葉から一定の期間を定めて実施しているように見えるが、内容を見ると非常に多様なことを実施しているので、特に期間を限定しているものではないということによいか。

【事務局】大型商業施設などでの啓発活動や人権作文コンクールといった人権啓発プログラムについて年間を通して実施している。

【委員】啓発活動の時に、例えばオレンジリボン運動を行っている団体と連携してリボンを配布するというような取組をすると配布する人の意識も高まったりするので、そういったことを実施してみるのもいいのではないかと思う。

4. その他

事務局から今後の日程等について説明する。新たな教育ビジョンの基本構想及び基本計画についてひととおり確認が終了したことから、次回の検討委員会ではこれまでに出示された意見などに基づき事務局が再検討し修正等を加えたものを中間まとめとして提案する。

○第5回大分市教育ビジョン検討委員会は11月15日（火）の15：00から大分市教育センター研修室202で開催。

5. 閉会

荒金副会長から閉会のことば。